

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

神戸フェリーバスでは、輸送の安全確保が社会的使命と深く認識し、運輸安全マネジメント導入により、次に掲げる「輸送の安全に関する基本的な方針」に基づき、「安全・正確・快適な輸送」を実現するべく社長をはじめ全社員が一丸となって取り組みます。

1、輸送の安全に関する基本的な方針

- ① 社長は、輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たします。また、現場における安全に関する声に真摯に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- ② 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善(PDCA サイクル)を確実に実施し、安全対策を不断に見直すことにより、全社員が一丸となって業務を遂行することにより、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。また、輸送の安全に関する情報については、積極的に公表します。
- ③ これらを達成するため、2025年度における各種乗務員教育・研修会は、より充実した内容にて積極的に実施して参ります。(実施時期、内容は別紙計画書参照)

2、2024年度輸送の安全に関する目標(2023年度実績)

- ① 重大事故発生件数0件の達成(昨年度 0件)
- ② 有責事故件数の削減目標
 - 車内事故 0件(昨年度 0件)
 - 人身事故 0件(昨年度 0件)
 - 物損事故 昨年事故件数の1件(昨年度2件)
- ③ 飲酒・酒気帯び運転の撲滅

3、輸送の安全に関する重点施策

- ① 輸送の安全の確保が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び安全管理規程に定められた事項を厳守します。
- ② 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行うよう努めます。
- ③ 輸送の安全に関する内部監査を行い、必要な是正措置又は予防措置を講じます。
- ④ 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し社内において必要な情報を伝達、共有します。
- ⑤ 輸送の安全に関する高度な教育及び研修に関する具体的計画を策定し、これを的確に実施します。

4、安全統括管理者

総務次長 片岡 良太